

# SDGs認知度調査

## 2025年3月

大阪府 政策企画部 企画室 連携課

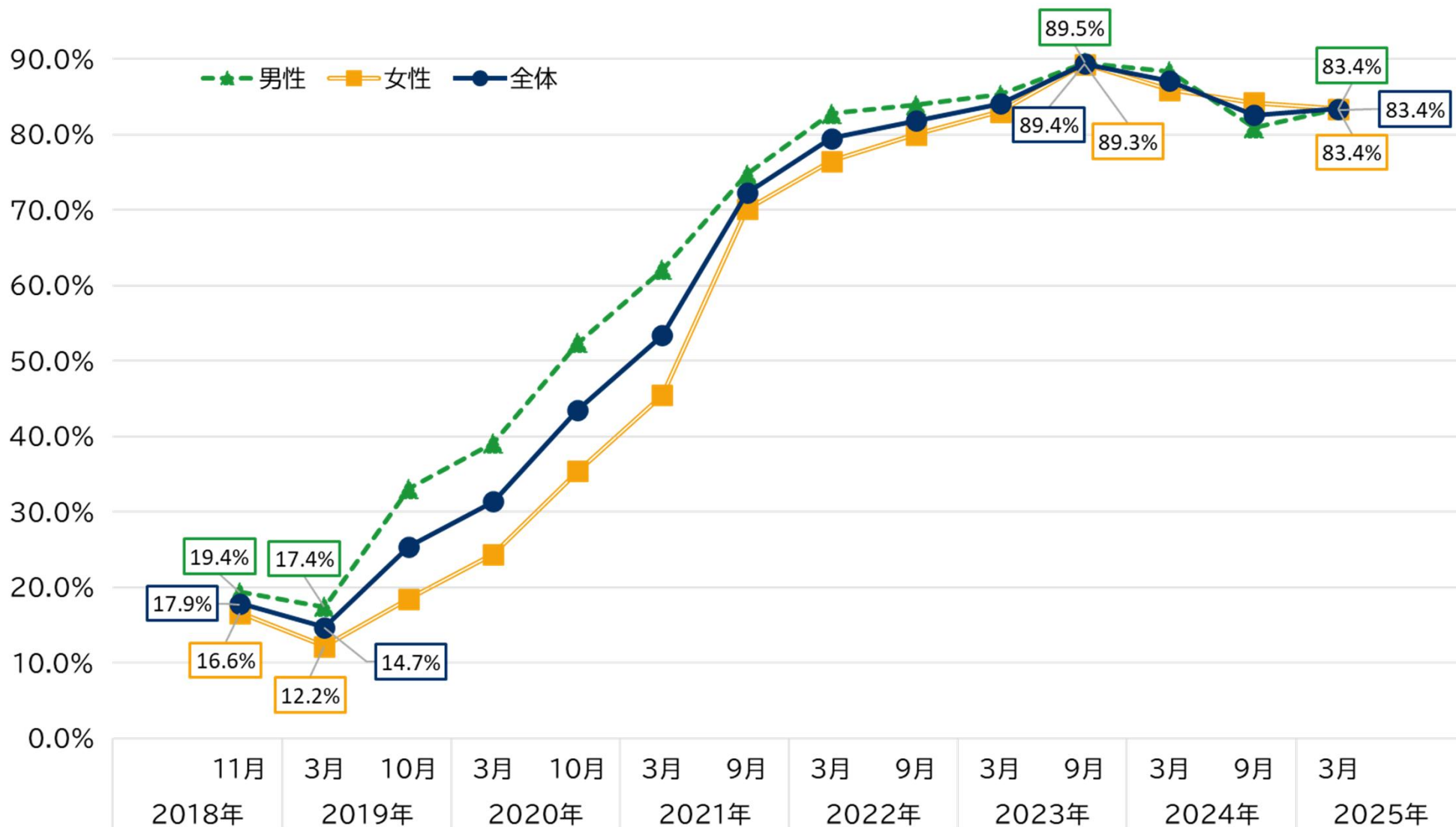
### 【アンケート調査の概要】

調査方法：民間の調査会社が保有するモニターを対象としたインターネットアンケート調査

調査対象：国勢調査に基づく性・年代・居住地の割合で割り付けた18歳以上の大阪府民1,000人

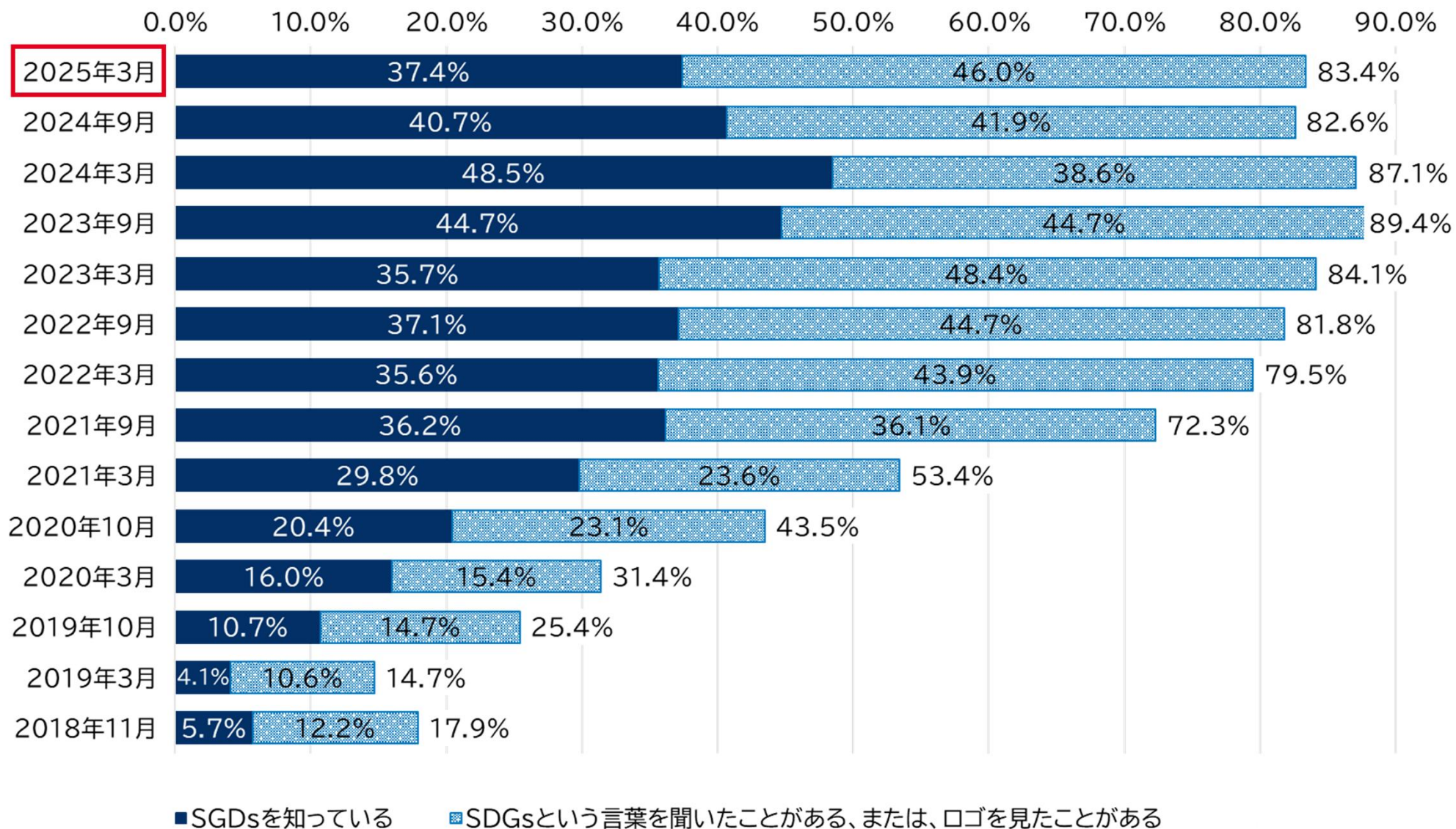
実施期間：2025年3月17日から3月19日

府民全体の認知度は **83.4%**

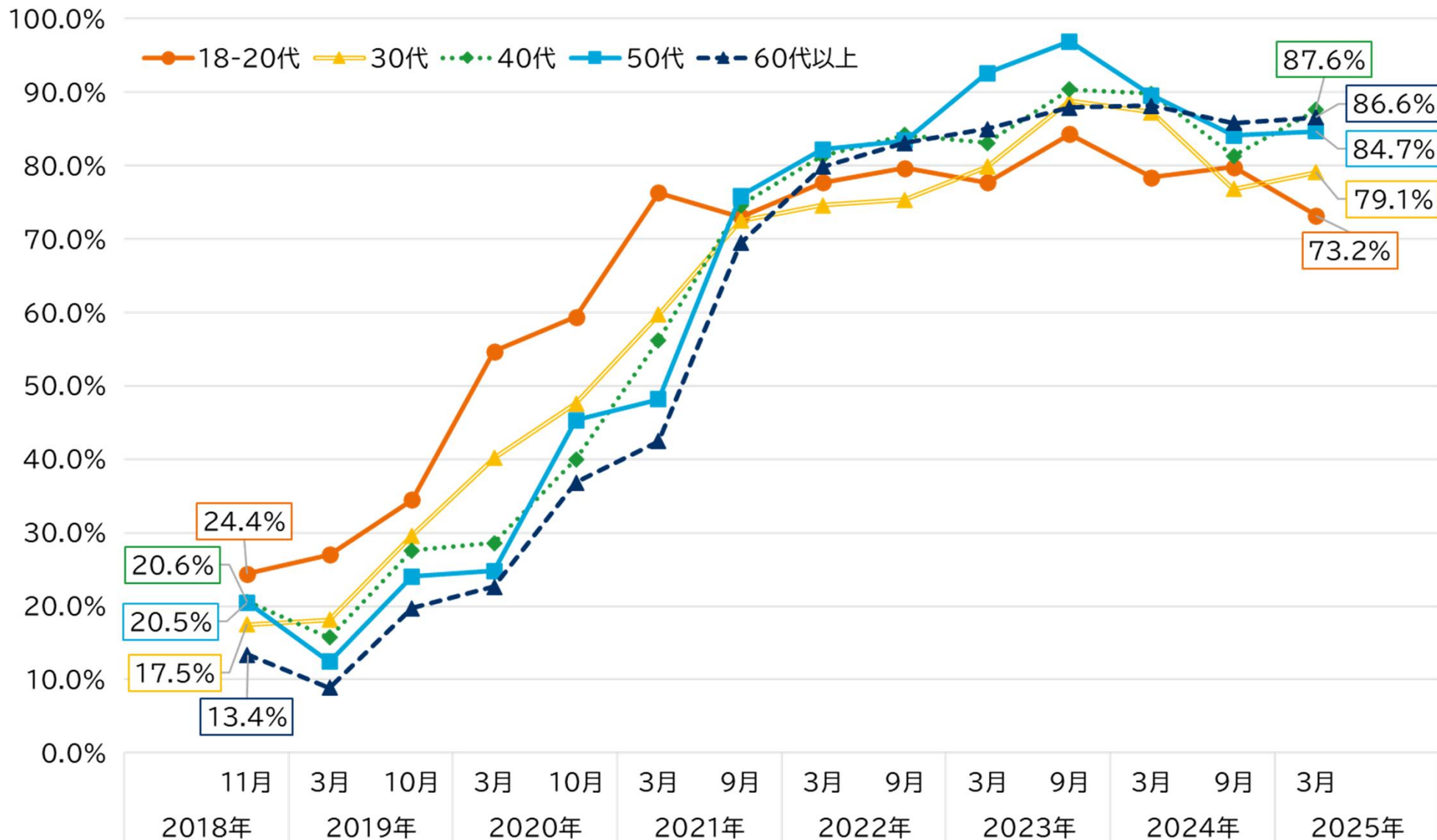


※「SDGsを知っている」と「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の合計をSDGsの認知度としている

直近2年のSDGsの認知度は、概ね80%を超える水準で推移している

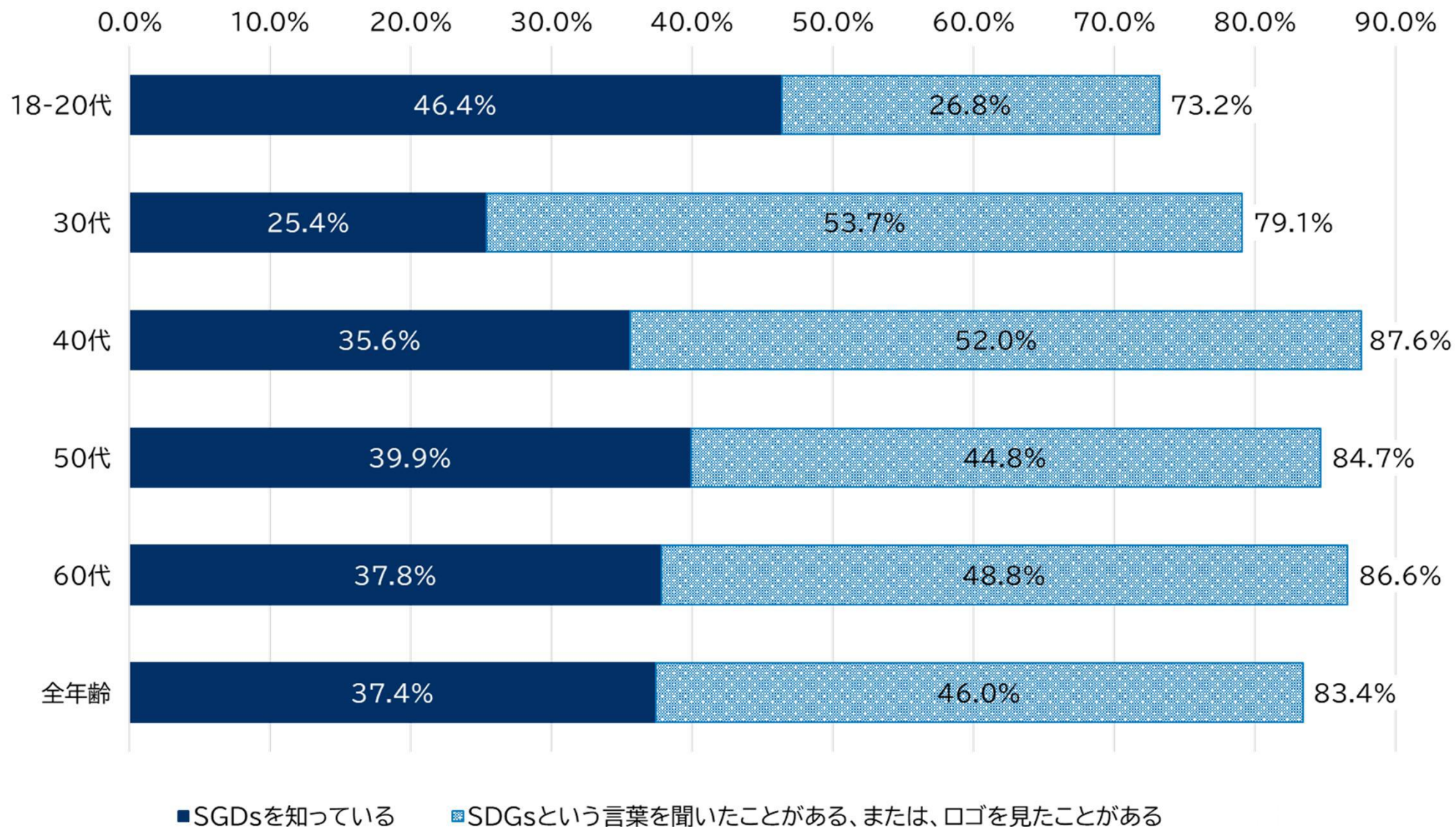


2022年以降、全ての世代で認知度は70%を超える水準で推移している

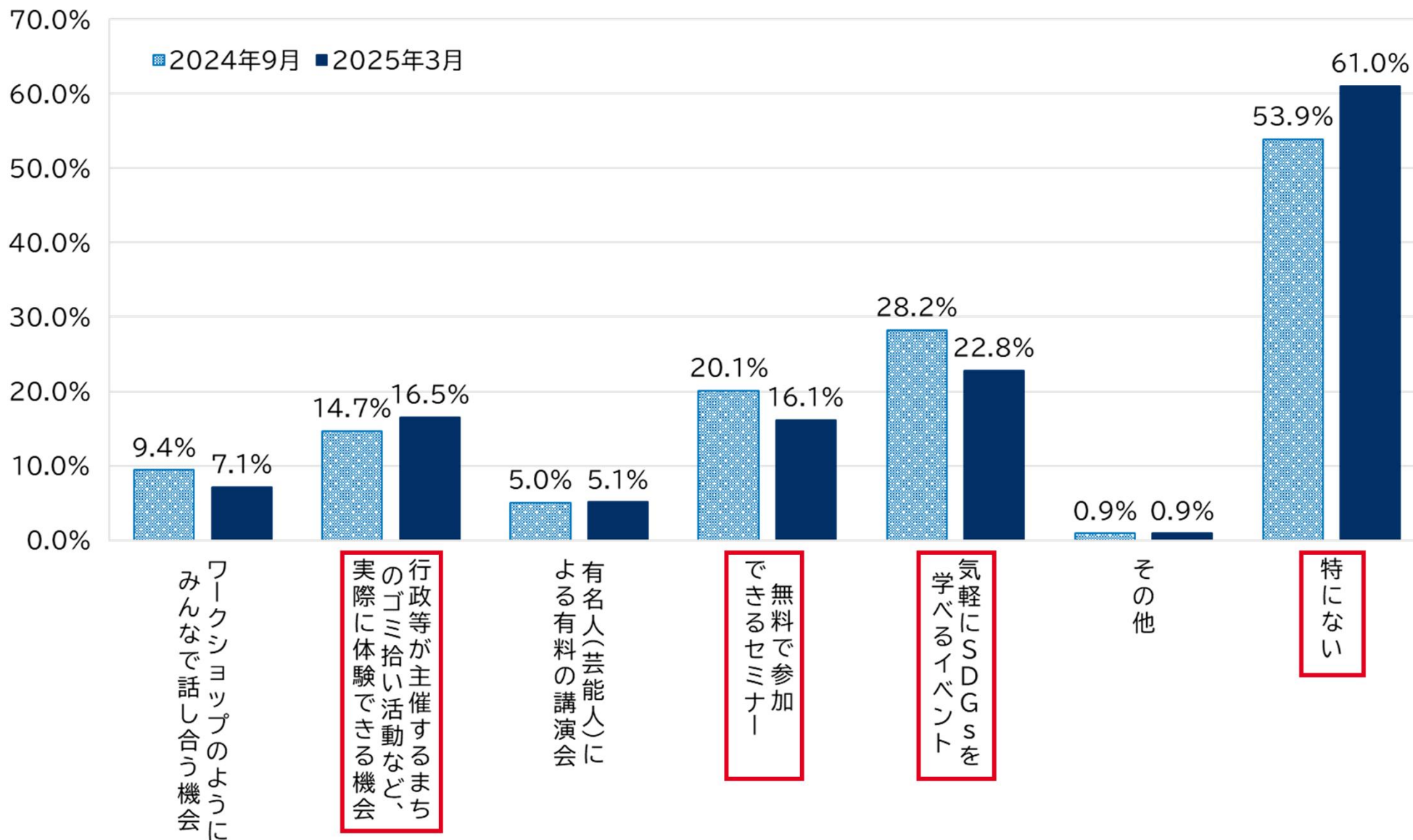


18-20代、30代では、認知度が80%を下回っている

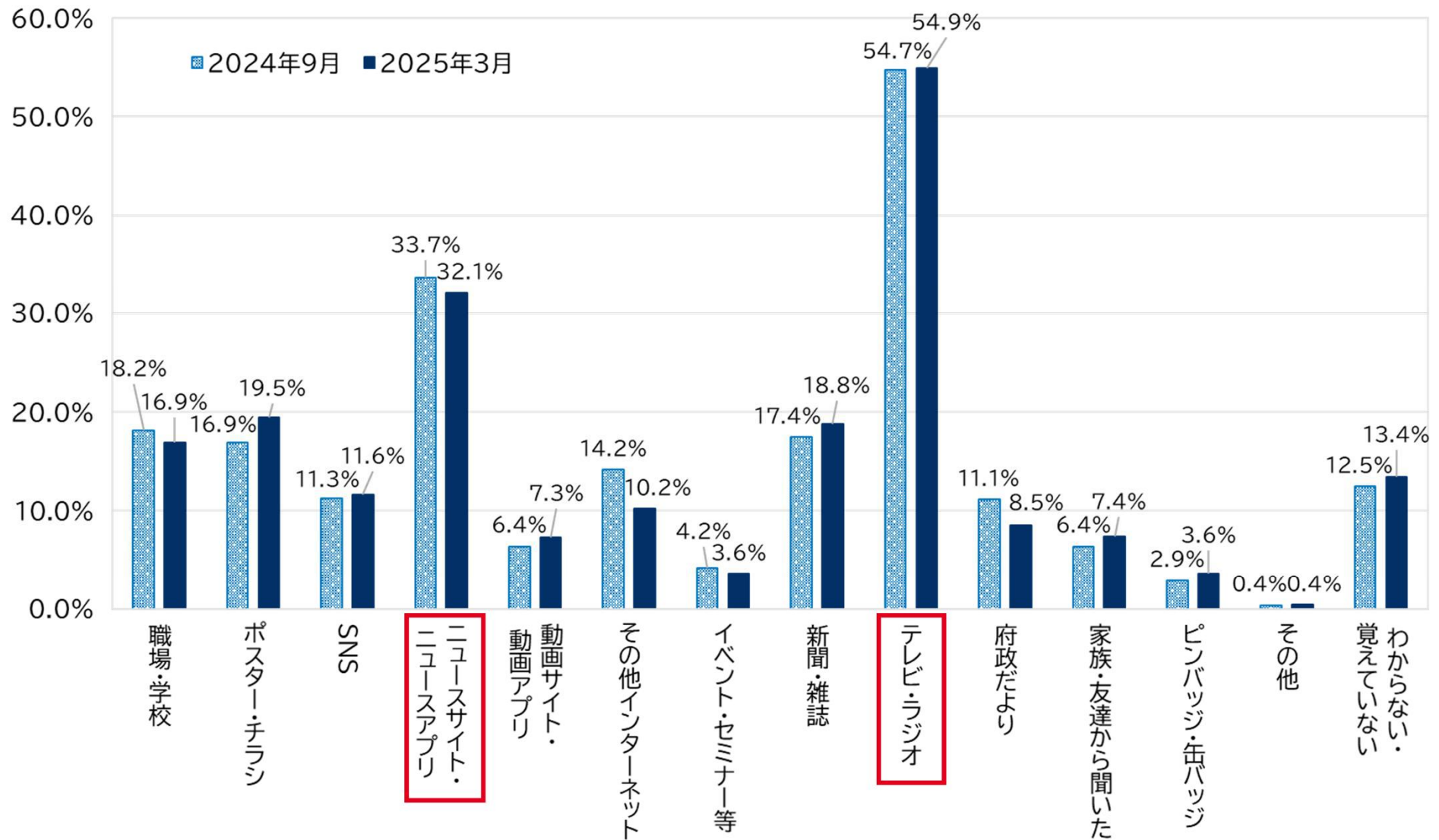
「SDGsを知っている」と回答した割合は、18-20代のみ40%を上回っている



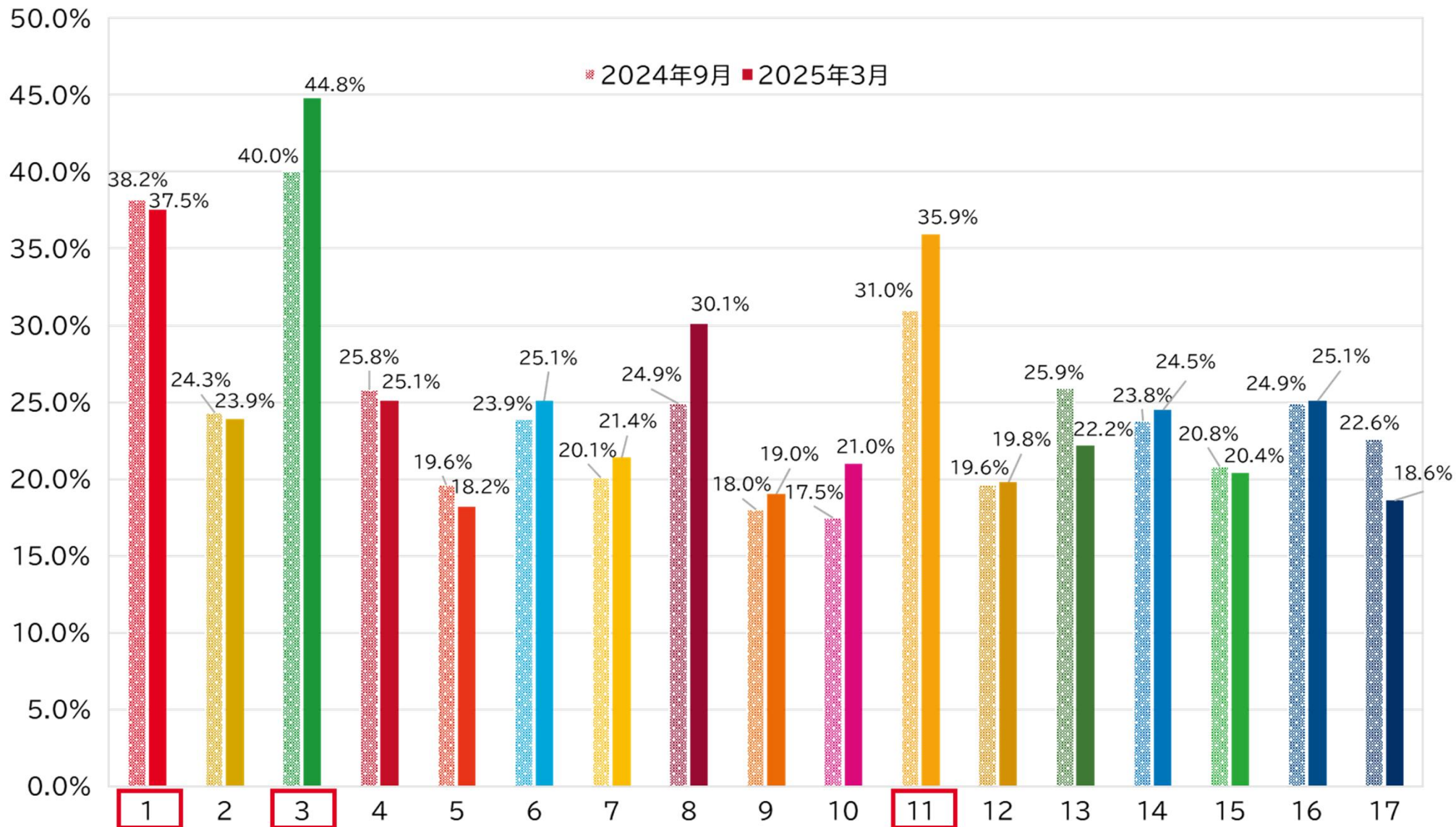
SDGsに関心が高まる機会は、「気軽にSDGsを学べるイベント」、「無料で参加できるセミナー」、「行政等が主催するまちのゴミ拾い活動など、実際に体験できる機会」の割合が高い



SDGsを知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」、「ニュースサイト・ニュースアプリ」の割合が高い



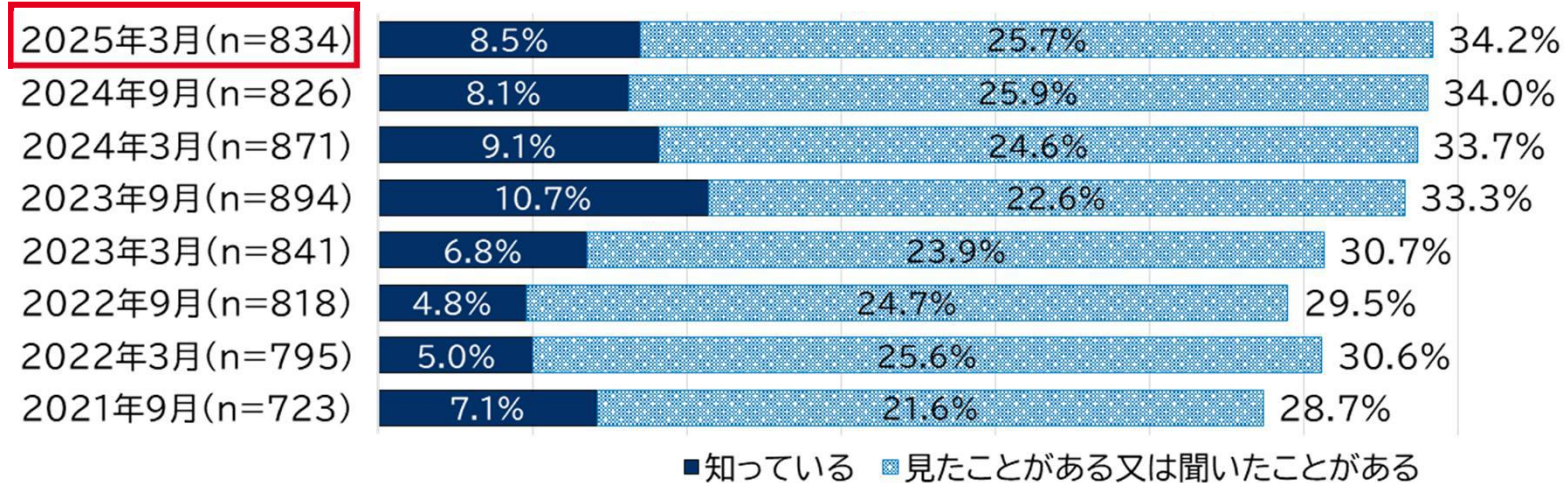
大阪で重要だと思うゴールは、「ゴール3(すべての人に健康と福祉を)」、「ゴール1(貧困をなくそう)」、「ゴール11(住み続けられるまちづくりを)」の割合が高い



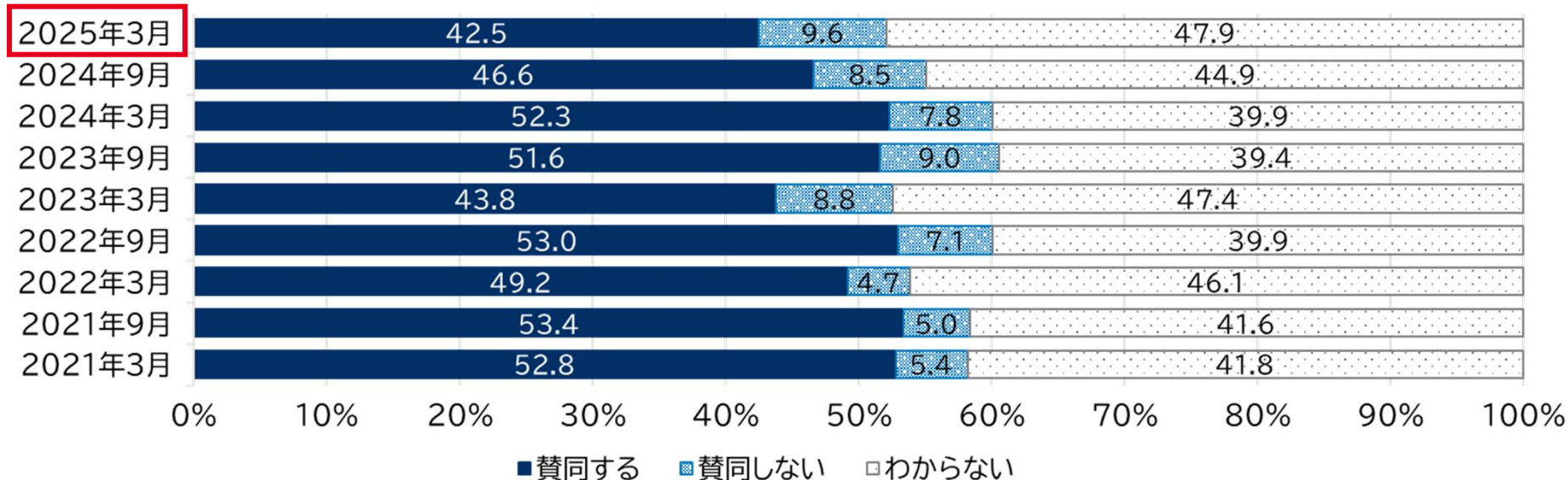


大阪SDGs行動憲章の認知度は34.2%、趣旨への賛同率は42.5%

## ■大阪SDGs行動憲章の認知度(SDGsを知っている・聞いたことがあると回答した人のみ)

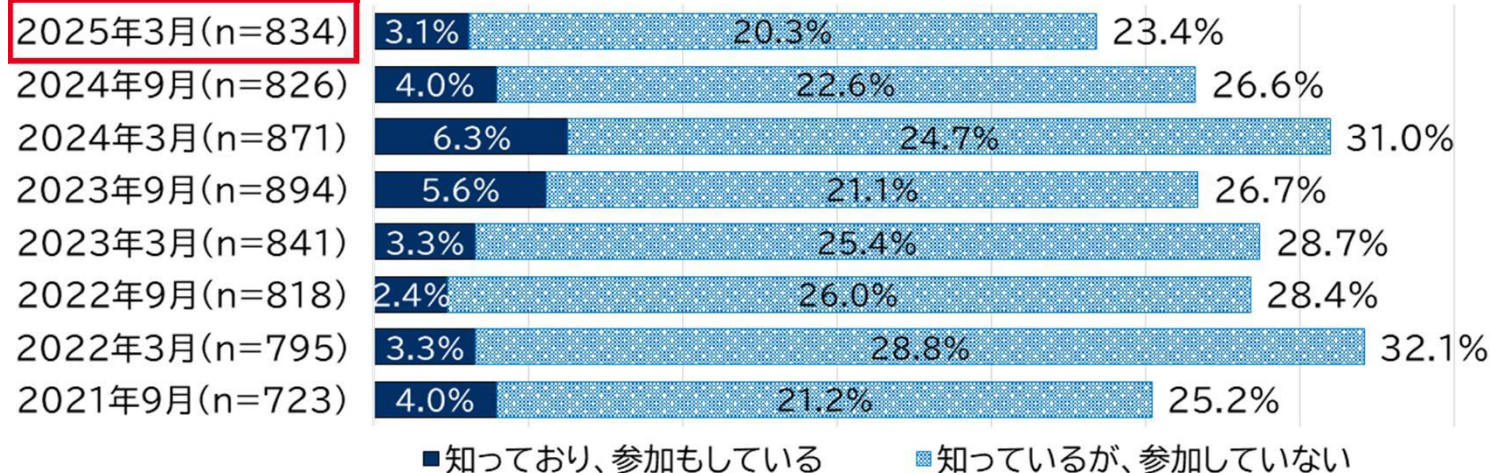


## ■大阪SDGs行動憲章の趣旨への賛同率(n=1,000)

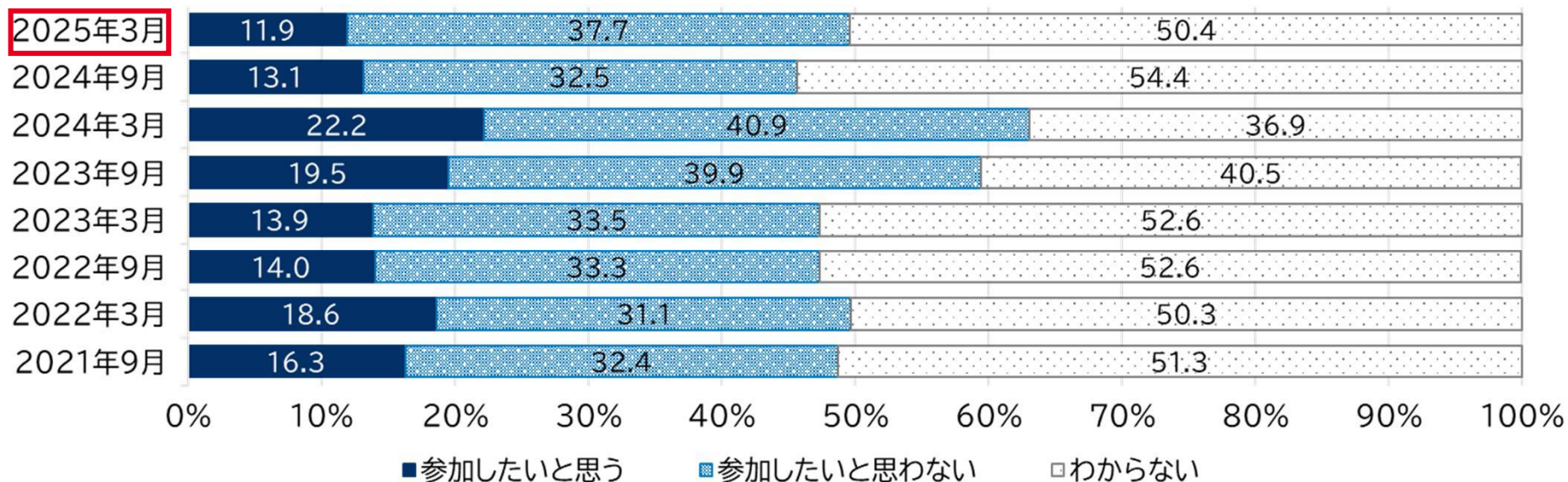


私のSDGs宣言プロジェクトの認知度は23.4 %、参加したいと思う人は11.9%

## ■私のSDGs宣言プロジェクトの認知度(SDGsを知っている・聞いたことがあると回答した人のみ)

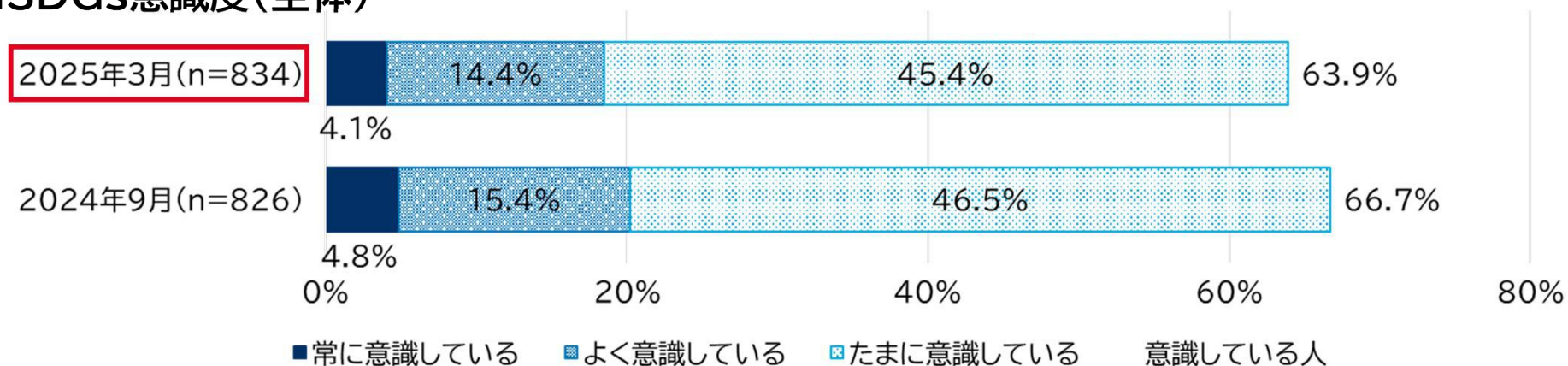


## ■私のSDGs宣言プロジェクトへの参加意思(上記のうち、「知っており、参加もしている」と回答した人を除く)

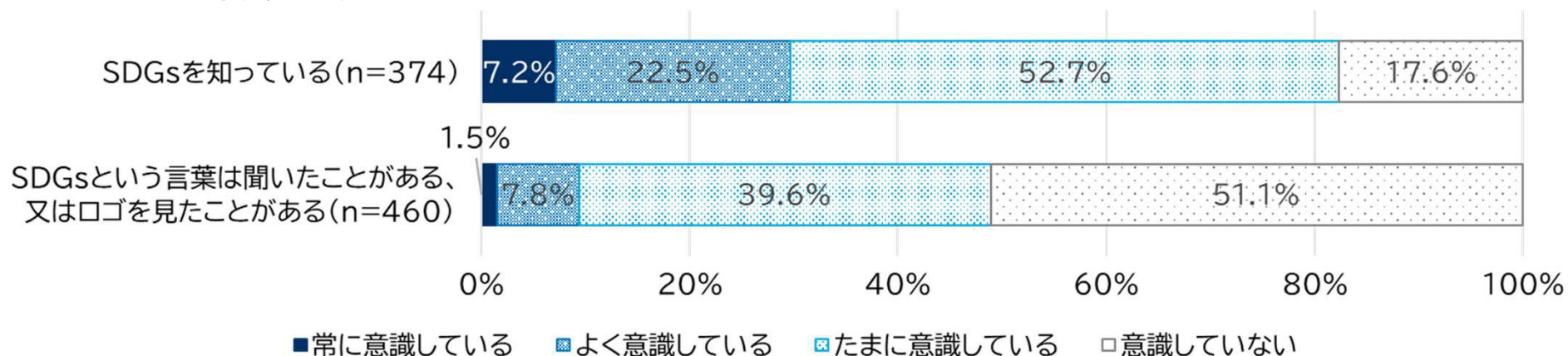


- SDGsを「常に意識している」、「よく意識している」、「たまに意識している」の合計は63.9%
- 「SDGsを知っている」と回答した人は、「SDGsという言葉は聞いたことがある、又はロゴを見たことがある」と回答した人より、SDGsの意識度が高い

## ■SDGs意識度(全体)

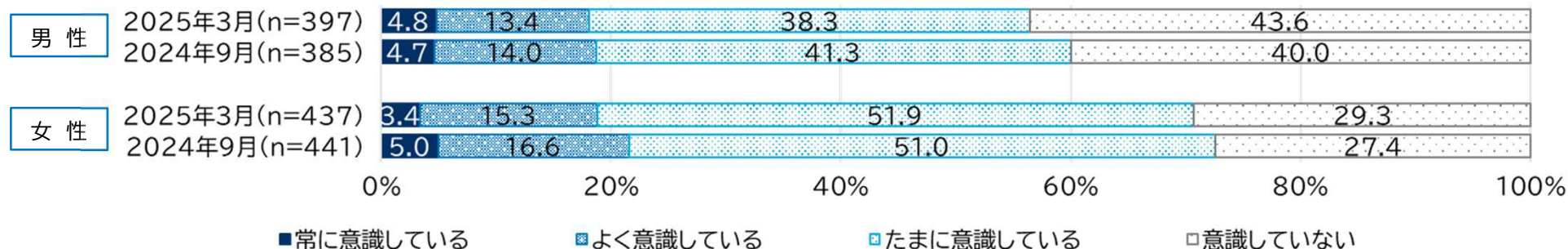


## ■SDGs意識度の違い

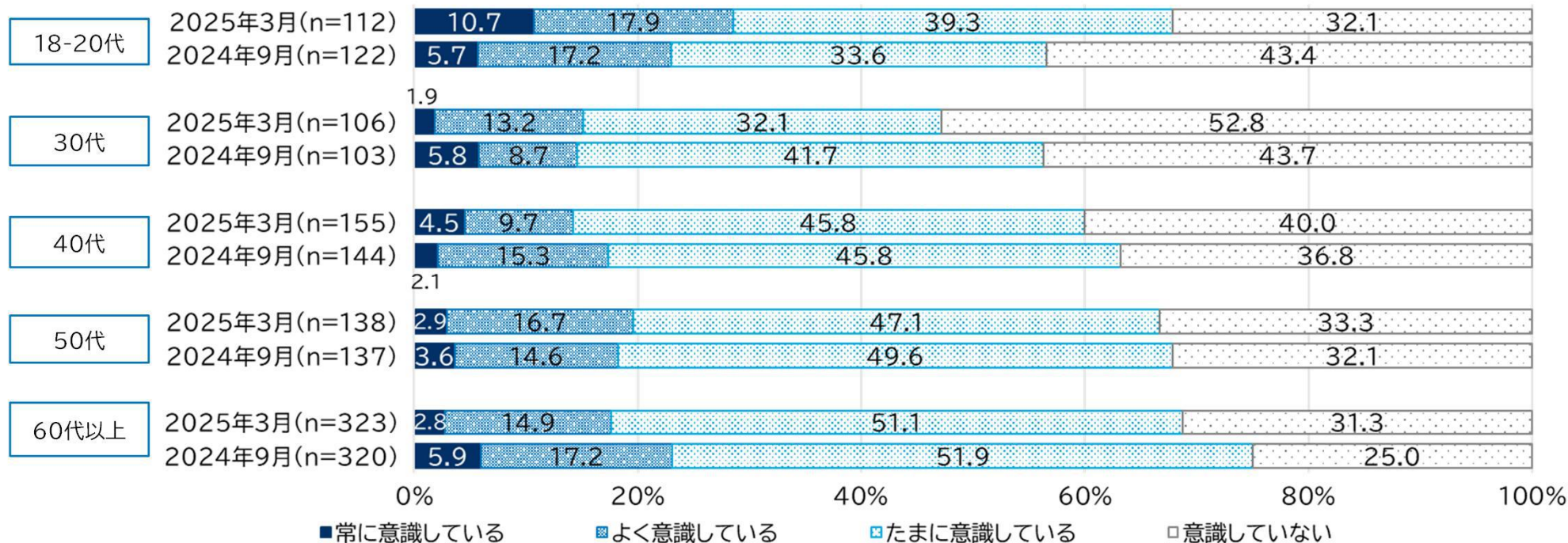


- 男女別では、女性の意識度が高い傾向にある
- 30代の意識度は60%を下回っている

## ■SDGs意識度(性別)

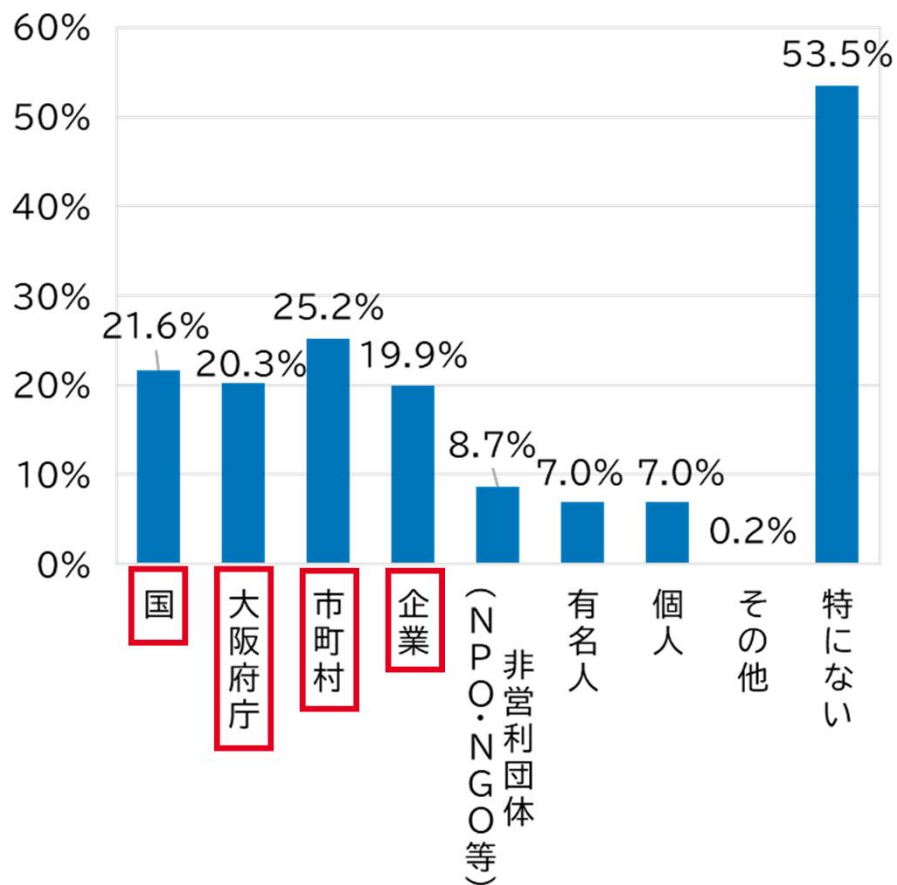


## ■SDGs意識度(年齢別)

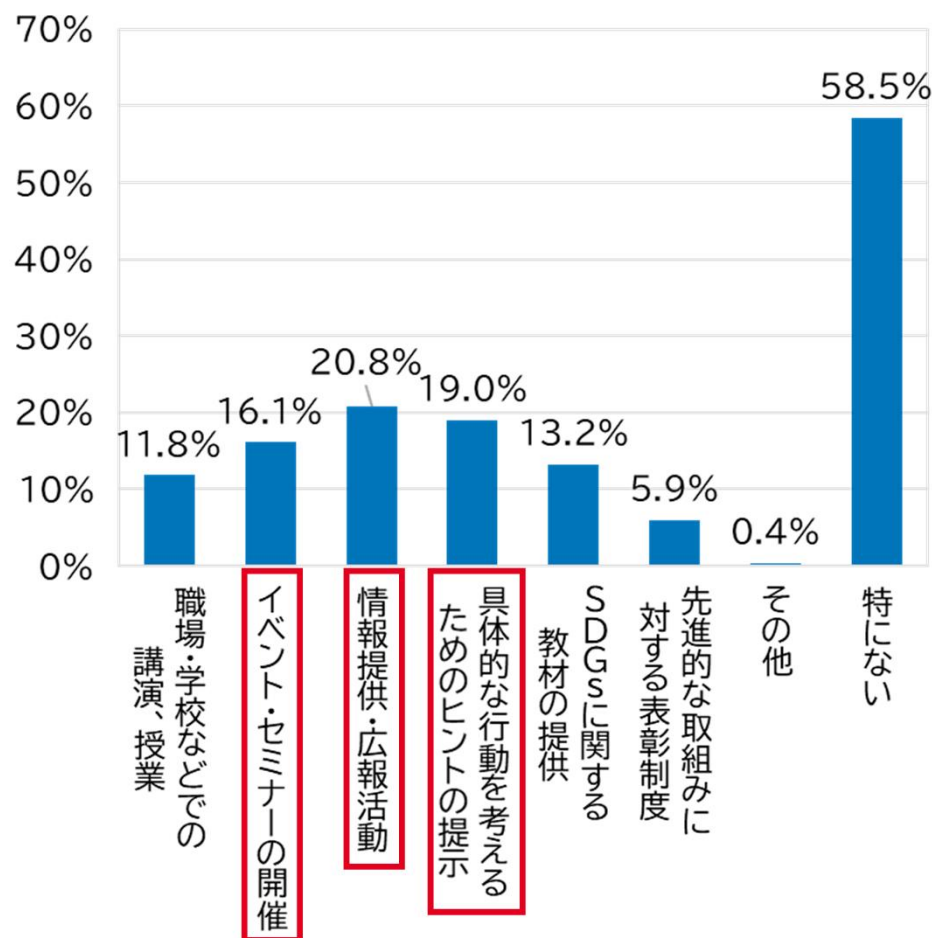


- どういった団体等が行う取組みに興味があるかについては、「市町村」、「国」、「大阪府庁」、「企業」の割合が高い
- SDGsを広めるため大阪府に期待する取組みは、「情報提供・広報活動」、「具体的な行動を考えるためのヒントの提示」、「イベント・セミナーの開催」の割合が高い

■ どういった団体等が行う取組みに興味があるか  
(複数選択可)



■ 大阪府に期待する取組み  
(複数選択可)

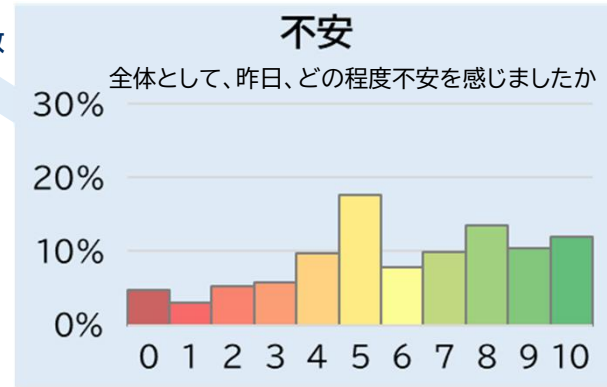
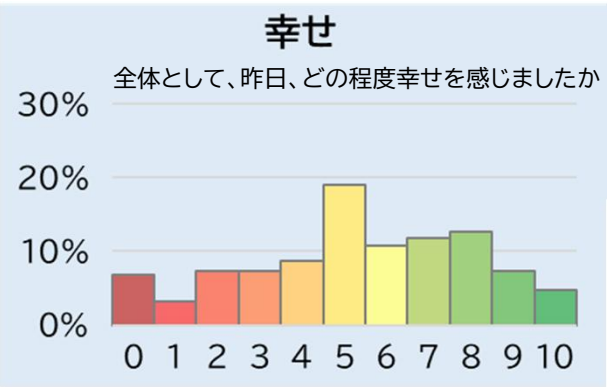
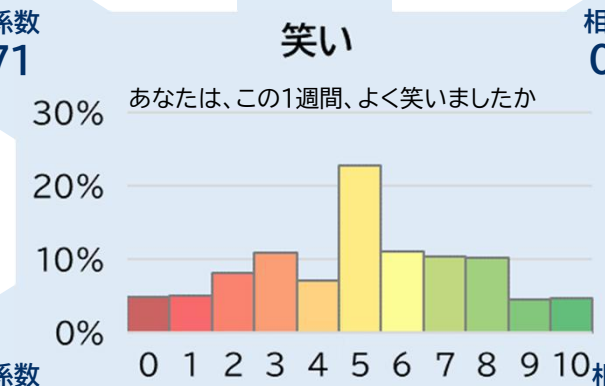
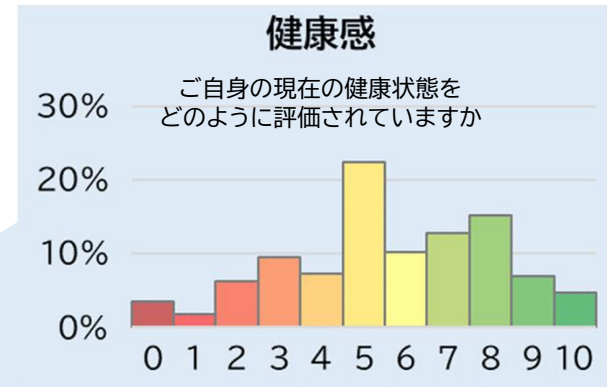
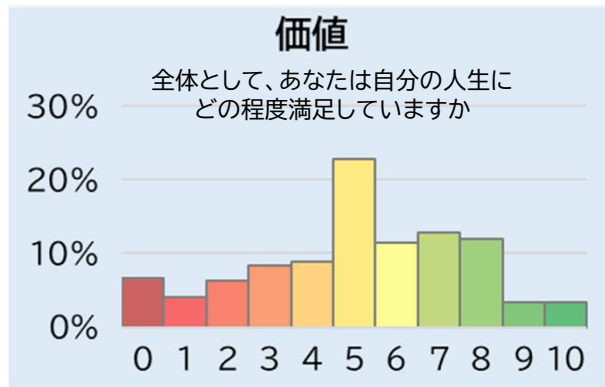
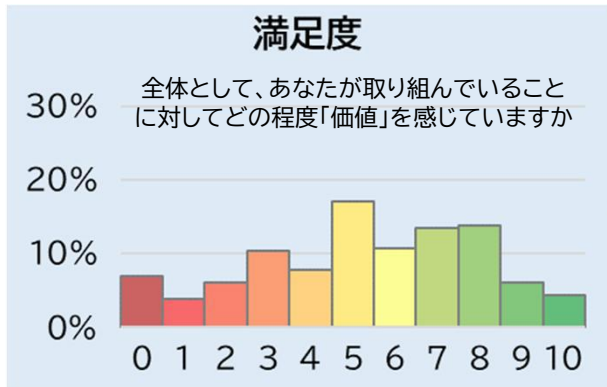


「笑い」と「幸せ」、「満足度」、「価値」、「健康感」には、それぞれ正の相関がみられる

◀全く〇〇でない(最も望ましくない状態)



これ以上なく〇〇(最も望ましい状態)▶



- ・ 食品を買う時は賞味期限の短い物を買ったり、食品ロスを無くすようにしている
- ・ スーパーで手前取りや見切り品を購入する
- ・ 畑借用による野菜作り
- ・ ウォーキングとストレッチ体操を実践している
- ・ エレベーターやエスカレーターをなるべく使わない
- ・ 子ども達の環境を良くするための寄附
- ・ ジェンダーに関する対応
- ・ 節電、節水する
- ・ 自転車や公共交通機関を利用する
- ・ 人権意識を常に持つ
- ・ 差別や偏見をしない
- ・ フェアトレードの物を買ったり、森林認証マークが付いた物を選ぶ
- ・ エコバッグやマイボトル、マイ箸を使用する
- ・ ペットボトルを捨てる時に分別したり、詰め替え用を買うようにする
- ・ 過剰な包装を断る
- ・ 不要なものを購入しない
- ・ 環境に配慮した商品を買うようにしている
- ・ 服や家電などなるべく長く使い続ける
- ・ 中古品でも使える物は購入する
- ・ リサイクル、リユースを心がける
- ・ ペットボトルやアルミ缶をリサイクルボックスに捨てに行く
- ・ ペーパーレス化する
- ・ エアコンを適温に設定する
- ・ 地域の人と清掃活動をする